

**学校名** 行田市立西中学校  
**所在地** 埼玉県行田市持田600  
**電話** 048-553-1434

## 1 本校の概要

行田市の南西に位置し、昭和60年に開校した。令和5年度は、生徒数402名、学級数14学級、教職員数27名で開校39年目を迎える。学校教育目標『夢と理想を掲げ、よりよい社会を創造する西中生』のもと、爽やかなあいさつができ、文武両道を目指す生徒が多数みられる学校である。

図書活動推進教員が週1回、読書活動の支援を行っている。また、読書活動の充実のため市立図書館との連携を密にしている。現在、要望しているが学校司書は市内に配置されていない。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・ 市立図書館との連携による読書活動の取組
- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

### (2) 実践の概要

#### ア 市立図書館との連携による読書活動の取組

- ・ 各教科等における学習に結び付けた取組  
各学年に市立図書館職員にゲストティーチャーとして来ていただき、各教科の教員と連携した授業を行った。

- ・ 国語科2年生 POP作り
- ・ 家庭科3年生 保育に関連した読み聞かせの本の選書と読み聞かせ方



#### イ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

- ・ 朝読書の実施(毎朝5分間)
- ・ 図書室内特設コーナーの設置  
「食欲×読書」「部活特集」「映画原作本」「教科書教材関連本」「受験関係」など。
- ・ 月1回の図書だよりの発行
- ・ イベントの企画  
図書委員による「読書冊数表彰イベント」利用生徒への「季節のしおりの配布」などを定期的に行った。
- ・ 読書週間に合わせた西中読書週間の実施  
「校内読書マラソン」「読書の木」「先生方へのおすすめ本の掲示」を行った。「読書マラソン」は1か月

間のページ数を集約し、図書委員長が表彰している。

「読書の木」の作成では、廊下に、読書週間前は紅葉の型紙に「自分のおすすめの本紹介」、読書週間後にはイチョウの型紙に「読書マラソンで読んだ本の感想」を掲示した。



### ・ お話給食の実施

読書週間に合わせて、市内の栄養教諭と相談しながら、本の中に出てくる料理を給食で再現した。

「給食室の一日」より【きのこのカレー】を小学校向けに、「給食アンサンブル」「給食アンサンブル2」より【思い出の麻婆豆腐、アーモンドフィッシュ】を給食センターの協力のもと提供した。本校から市内の小中学校へ情報提供し、小中学校の図書室だけでなく、市立図書館にも紹介コーナーを作ってもらい、市民にも広く周知できた。

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

ア 今年度は学校図書館と市立図書館がつながりをも



ったことで、授業においてより充実した活動を行うことができた。2年生のPOP作り後には、市内図書館にコーナーを設置してもらい、作ったPOPが本とともに飾られ、自分の作ったPOPの本が貸し出されているのを見て生徒も喜んでいた。また、POPのついた本の貸出しが市民からも好評だったと聞いた。

イ 図書委員会で図書室の利用率を上げるために定期的にイベントを行ったことで、賞状やしおりが欲しいと本を借りる生徒が増加した。

生徒たちは、「読書の木」の掲示物前で立ち止まり、仲間がどんな本を読んでいるかを興味深く見ていた。

「読書マラソン」では仲間同士で競い合いながら1万ページ以上読む生徒がいたり、一言感想を記録用紙に書いたりと全校生徒で取り組むことができた。

### (2) 課題

朝読書や読書マラソンで読む本は個人購入の本が多く、図書室の利用率につながっていないため、各取組を図書の貸出と関連付ける必要がある。また、本校は朝読書の時間が5分と短いため、効果があるといわれている10分間が確保できるように提案したい。